



京都切り絵歳時記

# 月刊 あじえんだ 10月



事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13  
京エコロジーセンター2F 活動支援室内  
TEL:075-647-3535 FAX: 075-647-3536  
E-mail:ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る  
京都市環境局地球温暖化対策課内  
TEL:075-222-4037 FAX:075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2  
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686  
E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

<ホームページ> <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/>

みやこ  
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信  
月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした  
京都発、環境関係の情報発信紙です

京のアジェンダ  
21フォーラム



## 地球温暖化防止行動キャンペーン（仮称）～プロジェクトチーム設置

前号でもお伝えしましたように、当フォーラムでは、京都議定書の発効2周年となる2007年2月の1ヶ月間、大規模な地球温暖化防止に向けた行動を促すキャンペーンを展開します。

8月4日の幹事会の決定を受けて、フォーラム内にキャンペーンのプロジェクトチーム（コーディネーター：<sup>すぎもと</sup>本育生さん）が発足し動き始めています。

### ◆3つの専門チームでキャンペーン行動を推進

プロジェクトチームは8月30日に第1回の会議を開き、内部に次の3つの専門チームを設置しました。

- 1) 戦略的な新規創出メニュー（交通）
- 2) 戦略的な新規創出メニュー（エネルギー等）
- 3) 統一行動メニュー

戦略的な新規創出メニューの2つのチームは、交通とエネルギーの両分野において、将来的に社会のシステムに何らかの変化をもたらすような新しい、かつ実践的で持続的な地球温暖化防止の取組の実現を目指します。

1つ目の交通分野のチームは、マイカーから徒歩・自転車・バス・鉄道への移動手段の転換などに取り組みます。

2つ目のエネルギー分野のチームは、省エネルギー診断と組み合わせた省エネルギー型家電製品、ライフスタイルの普

及促進や、店舗におけるレジ袋の使用削減などの省資源の活動推進に取り組みます。

どちらの分野も一時的な呼びかけに留まらず、キャンペーン期間終了後も取組内容が社会に定着することを目指して、関係する事業者や組織等との協力体制をつくって動いていきます。

3つ目の統一行動メニューのチームは、広く家庭や事業所を対象として、今すぐできる具体的な行動や注意点を伝え、かつてない多くの方々に「私もやります」と宣言していただく活動に取り組みます。

### ◆専門チームのメンバーを募集します

フォーラムのプロジェクトチームではただ今、会員の皆様からもこのキャンペーン行動の3つの専門チームに加わってくださるメンバーを募集しています。

本号がお手元に届くころには、各専門チームとも動き始めています。

そこに自分も加わって、キャンペーン行動を通じて京都に地球温暖化防止の新たな取組を根付かせたいと思われる方は、どうぞ事務局までご連絡ください（1ページ右肩面参照）。

また、各会議の開催案内、報告は随時、脱温暖化キャンペーンブログ (<http://ma21f.wablog.com/>) に掲載しますので、ぜひご確認ください。

交通WG



## 「都心の交通システムの変革」推進を地球温暖化防止と市民参加の視点から応援

環境にやさしい交通体系の創出ワーキンググループ（以下交通WG）の今年度の重点プロジェクトを紹介します。

### ◆まちなかプロジェクト（重点プロジェクト）

現在京都市は「都心の交通システムの変革」という重要テーマの実現を目指して「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進しております。これに対して、交通WGでは、地球温暖化防止と変革を応援する市民意見の反映の視点を持って、政策提案を行い、その実現を支援するプロジェクトを立ち上げました。先日の会議で、このプロジェクトを「まちなかプロジェクト」と呼ぶことに決めました。

9月号の記事でご報告したとおり、このプロジェクトはフォーラムの今年度の重点プロジェクトに指定されています。

現在、プロジェクトとしては次のような取組を考えています。

### ●駐輪場に関する実態調査

具体的な政策提案をするために基礎情報を得るための実

態調査の実施を京都市に提案します。

### ●都心の交通アクセスに関する意識調査

11月の「まちなかを歩く日」のときや来年2月の地球温暖化防止行動キャンペーン（仮称）の期間中などに、歩行者を対象に、都心のアクセスに関する意識調査を行います。

プロジェクトでは、こういった調査結果などを材料にして、自転車と公共交通の両面で具体的な政策案を取りまとめ、京都市など各方面にその実現を働きかけることとしています。

また、近いうちに「まちなかプロジェクト」のウェブサイトを準備し、関心を持つ方々に向けて、さまざまな情報を集約して提示したいと考えています。

交通WGでは、この他にも2つの実施プロジェクトに取り組んでいます。詳しくは3ページをご覧ください。

Agenda  
Forum

10月の  
ミーティングと  
主催行事の予定

10月2日（月）	10:00～12:00	地球温暖化防止行動キャンペーンプロジェクトチーム 戦略的な新規創出メニュー（エネルギー等）会議 （京都市市民生活センター）
10月2日（月）	15:00～17:00	中小事業者による環境に関する地域社会貢献事業（K-CSR） 推進プロジェクト会議（市役所寺町第4会議室）
10月4日（水）	16:00～	自然エネルギーネットワークづくりプロジェクト会議 （龍谷大学深草学舎紫光館5階REC研修室）
10月10日（火）	10:00～12:00	自然エネルギーWG会議（気候ネットワーク）



## 京都・自然エネルギーネットワークづくりプロジェクトがスタート

「京都・自然エネルギーネットワークづくり」プロジェクト会議（主要プロジェクト）

当フォーラムでは、自然エネルギーワーキンググループを中心に、京都における自然エネルギーの普及の仕組みづくりを目指しています。今年度、自然エネルギーの一層の利用促進をはかっていくことを目的に、「自然エネルギーマップづくり」、「京都・自然エネルギーネットワークの立ち上げに向けた交流（仮称：京都おひさまクラブ）」を行うこととなりました。自然エネルギーWGメンバーのほか、伏見新エネルギー研究会メンバー、京エコロジーセンターのエコメイトの方々、龍谷大学の大学生など新しいメンバーが加わってくださり、8月にプロジェクト会議がスタートしました。

「自然エネルギーマップづくり」では、京都における事業所の自然エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用（温水器、ソーラーシステム）、風力発電、バイオマス利用（発電設備、薪・木質ペレットストーブ等）、小水力発電など）の利用状況を調査してインターネットの電子地図で位置を確認できるようにし、これを広く市民に公開するべく準備を進めています。自然エネルギーの利用状況調査に当たっては、京都市内のKES認証取得事業所等にご協力をお願いするとともに、新聞などを通じて、身近なところで自然エネルギーを利用している店舗等の情報を、広く市民から募集する予定です。フォーラムのホームページでも事業者の方々からの情報を募集していますので、ご協力の程、よろしくお願いします。

<http://ma21f.web.infoseek.co.jp/forumnews/060922ecoenemap.html>

また、実際に地域を散策して自然エネルギー利用施設を訪ねるエコツアーを行います。あまり自然エネルギーに馴染みのなかった市民の皆さんにも自然エネルギーのことをもっと知ってもらうこと、また自然エネルギーを利用している事業所等を積極的に紹介することを通じて、更なる自然エネルギーの普及に努めたいと考えています。

また「京都・自然エネルギーネットワークの立ち上げに向けた交流（仮称：京都おひさまクラブ）」では、自然エネルギー設備の設置者同士が交流できる機会を設けることにより、既に自然エネルギーを利用している市民が課題・解決法を共有し、利用を継続できるようにしていきます。

プロジェクト会議への参加を希望される方は、フォーラム事務局までご連絡ください（1ページ右肩面参照）。



### 企業活動WG



## 中小事業者の環境取組を応援します

事業所の環境取組事例集作成、事業所の地域社会貢献事業モデルづくりプロジェクトがスタート  
プロジェクト会議メンバーも募集

●事業所の環境取組事例集を作成します  
（「KES認証取得事業所の環境取組事例集作成」プロジェクト 主要プロジェクト）

KES（KES・環境マネジメントシステム・スタンダード）認証取得事業所の環境報告書「かんきょうレポート」作成を促進するため、2005年度には企業活動WGを中心に京都環境賞の特別賞として「かんきょうレポート賞」を設けるなどの応援活動を行いました。しかし、残念ながら事業所からの積極的な作成・公表は見られませんでした。

一方、2005年度に企業活動WGを中心に作成した「KES PRパンフレット」（右写真）に掲載した「企業の取組事例」は、掲載企業にも読者にも好評でした。

このため事業所の「かんきょうレポート」作成促進のきっかけづくりとして、また読者側からの環境活動事例の参考資料として、「環境取組事例集」の作成を行うことになりました。

今後KES倶楽部メールニュースを通して、掲載事業所を募集する予定です。あわせて、編集などを行うプロジェクト会議のメンバーも募集します。

詳しくはフォーラム事務局までお問合せください（1ページ右肩面参照）。

### ●事業所の地域社会貢献事業モデルづくりを行います

（「中小事業者による、環境に関する地域社会貢献事業モデル構築事業」プロジェクト。京エコロジーセンター平成18年度「地球温暖化防止先進モデル事業」）

京都市の中小事業者による地球温暖化防止の取組は、KESの普及などにより進みつつありますが、普及に伴って、KESを認証取得した事業所から、省資源・省エネルギー等の取組を一通り行ったあとの新たな取組テーマを探す動きが出てきました。そこで、新たなプロジェクトとして、中小事業者が取り組める環境に関する社会貢献のあり方・方法の検討

とモデルづくりを検討することになりました。

KESは当初から事業者を中心に取組が進められてきましたが、最近は学校での環境取組の強化にともない学校がKESを認証取得するケースも急増しています。そこで当プロジェクトでは、学校の環境取組が保護者（地域住民）との関わりが大きいことに注目し、KESを認証取得した企業と学校とを、KESや環境への関心を軸に結びつきを作り、「企業—学校—地域住民」の関係を一種の共同体として高めていく、「地域環境活動体」を各地域に構築することを目指すこととしました。当面、プロジェクトでは、この新しい「地域環境活動体」の構築を促進するための「環境に関する社会貢献」的活動に取り組む予定です。

詳しくはフォーラム事務局までお問合せください（1ページ右肩面参照）。プロジェクト会議への参加も歓迎します。



左写真  
KES PRパンフレット表紙  
「小さなコストで、大きな成果  
環境経営、始めています」KES・環境マネ  
ジメントシステム・スタンダード」

小さなコストで、大きな成果

京のアジェンダ21フォーラム



## 交通ワーキング、今年度実施プロジェクトの紹介

環境にやさしい交通体系の創出ワーキンググループ（交通ワーキンググループ）の今年度の実施プロジェクトを紹介します。なお、重点プロジェクトについては1ページをご覧ください。

### ◆公共交通利用促進事業市バス冊子発行

マイカーから公共交通への転換を促すため、便利になった最新の市バスの具体的な使いこなし方を紹介する冊子を発行します。

こちらは前年度の公共交通タスクチーム（今年度のフォーラム改革の一環で解散）から引き継いだプロジェクトです。冊子の内容について、前年度に検討した結果を引き継いで完成させます。出来上がりをご期待ください。

なお、詳細は未定ですが、冊子の完成にあわせて「便利な市バスを賢く使いこなそう」をテーマにしたシンポジウムの開催を計画しています。

### ◆ウェブサイト「京の交通交流ひろば」

交通ワーキンググループでは、ウェブサイト「京の交通交流ひろば」を運営中です。フォーラムのウェブサイトからリンクに従ってご訪問ください。

### ◆プロジェクトメンバー募集中

交通ワーキンググループでは、戦力強化のためプロジェクトを実際に推進するメンバーを追加募集します。自分も活動に加わってみようとお考えの方は、フォーラム事務所までご連絡ください（1ページ右肩面参照）。



## 事務局動静 9月 ～事務局スタッフの動きを報告します～



- 4日（月）企業活動WG会議
- 5日（火）交通WG会議
- 6日（水）京エコロジーセンター情報発信・交流事業部会出席
- 7日（木）地球温暖化対策キャンペーン（仮称）ネットワーク会議
- 11日（月）自然エネルギーWG会議  
地球温暖化防止行動キャンペーンプロジェクトチーム・戦略的な新規創出メニュー（エネルギー等）会議  
KES 認証取得事業所取材（特活）きょうとNPOセンター（4ページ参照）  
上智大学大学院生視察対応
- 12日（火）京都府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会出席

- 歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会幹事会出席
- 13日（水）地球温暖化防止行動キャンペーンプロジェクトチーム戦略的な新規創出メニュー（交通）会議  
静岡文化芸術大学サステナブルデザイン研究室視察対応
- 20日（水）KES 倶楽部研修会出席
- 21日（木）上智大学大学院生ヒアリング対応
- 26日（火）「まちなかプロジェクト」（2006年度重点プロジェクト）会議  
京エコロジーセンター環境委員会出席  
『月刊あじえんだ』10月号発行日
- 27日（水）エコツーリズムWG会議
- 28日（木）地球温暖化対策キャンペーン（仮称）ネットワーク会議

## 助成金・表彰等案内

環境取組を対象とした助成金・表彰等の情報を紹介します



### 第16回地球環境大賞

<http://www.business-i.jp/eco/index.html>

主催：フジサンケイグループ  
（主管：フジサンケイ ビジネスアイ）  
後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省

協力：社団法人 日本経済団体連合会  
特別協力：財団法人 世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）

表彰内容：

- 大賞 ●経済産業大臣賞 ●環境大臣賞
- 文部科学大臣賞 ●国土交通大臣賞
- 日本経済団体連合会会長賞 ●フジサンケイグループ賞
- フジサンケイ ビジネスアイ賞
- 地球環境会議が選ぶ優秀企業賞
- 環境地域貢献賞（対象＝自治体、学校、市民グループ）

審査：平成18年11月～12月  
（第1次審査・第2次審査・最終審査）

発表：平成19年2月  
（フジサンケイ ビジネスアイ、産経新聞、サンケイスポーツ、夕刊フジ紙上に掲載）

授賞式およびレセプション：平成19年4月

関連事業：環境シンポジウム

応募資格

企業：規模を問わない。中小規模の企業に対しては、大企業に比べて資金的、人的な違いのあることを考慮して評価

自治体：都道府県市区町村

学校：大学、短大、高校、中学校、小学校など  
（国公立私立を問わない）

市民グループ：環境問題に取り組む任意団体、NGO、NPOなど

※個人の応募は不可

応募方法

\*応募用紙のデータ請求は下記事務局へ

- 下記を平成18年10月31日必着で事務局宛に郵送。
- ・事務局指定の応募用紙（事務局にご請求ください）
- ・最新版の環境（CSR）報告書（製作していない場合はそれに順ずる資料）10部
- ・応募者に関する資料（会社案内、自治体概要、学校案内、団体案内など）10部

お問い合わせ 地球環境大賞顕彰制度 主管事務局  
〒100-8125 東京都千代田区大手町1-7-2

フジサンケイ ビジネスアイ内

電話：03-3273-6102 FAX：03-3273-6124

E-mail：eco@business-i.jp



## KES 認証取得企業の声



**特定非営利活動法人 きょうとNPOセンター**  
 (京都で活動するNPOへの支援をはじめ、市民社会のさらなる発展を目指して、事業(プロジェクト)型の活動を展開)  
 TEL: 075-353-7688  
<http://www.npo-net.or.jp/center>  
 2005年8月に、KESステップ1を認証取得

### 「NPOならではの、環境にプラスになる取組を推進」

きょうとNPOセンターは、京都市市民活動総合センターの指定管理者として管理・運営を行っています。指定管理者には環境への配慮が求められるようになってきており、ISO 14001やKES等の認証取得も1つのツールとして、いずれ必要になるとのことです。また市民活動を支援する公共施設として、KESという、パートナーシップでつくられた環境マネジメントシステムを導入して、環境問題への取組を進めていきたいと考え、KESを認証取得しました。当センターには、平和や福祉など、様々な分野で活動するNPOが関わっています。そういった環境以外の分野のNPOが環境問題への取組を行うのは、他にあまり例がありません。

認証取得後1年目は紙・電気の使用量削減やグリーン購入の拡大といった取組を行いました。今年度は、NPOセンターだからこそできるような、「社会へ積極的に発信・提案していく」「それぞれのNPOの目的・理念にあった環境に良い事業を行っていく」といったプラスの取組を重視しています。例えばNPOを対象にした環境マネジメント講座の開催や、メールマガジンやニュースレターでの意識啓発などを行っています。当センターを利用しているNPOから、取組への提案がされることもあります。

それぞれのNPOには、なぜ環境問題に取り組みなければならないのか、もっと伝えていきたいと思っています。

例えば子育て支援などは、環境と直接関係がないように見えても、将来子どもが大きくなったときにも、きれいな地球環境が残っているように、本当は環境への配慮が必要なのです。その上、マネジメントシステムを広げていくことは、それぞれのNPOの活動の効率化にもつながります。今後は京都で活動するNPOを対象に環境への配慮に関する意識調査を行いたいと思っています。その上で、当センターならではの環境問題への取組を検討し、すすめていきたいと考えています。

(事業コーディネーター  
戸田幸典さん)



(左写真) NPO対象の環境マネジメント講座で、きょうとNPOセンターの取組を説明する戸田さん

## < KES 認証事業部より > ★ 9月の新規認証取得 2006年9月1日登録分

\* 確認審査合格企業の詳細については、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>) をご参照ください。

### ●ステップ1

- KES1-0454 (株)新和 (京都府向日市)
- KES1-0455 財団法人京都市女性協会 (京都市中京区)
- KES1-0456 (株)中央精器 嵯峨統括本部 (京都市右京区)
- KES1-0457 (株)ネオテクノ (京都市伏見区)
- KES1-0458 (株)日産建設 (京都市南区)
- KES1-0459 丸工自動車運送 (株) (京都市南区)
- KES1-0460 林建工 (株) (京都市伏見区)
- KES1-0461 京都醍醐センター (株) (京都市伏見区)
- KES1-0462 丸美建設 (株) (京都市左京区)
- KES1-0463 (株)齊藤工務店 (京都市左京区)
- KES1-0465 向井石油 (株) (京都市南区)

- KES1-0466 エレックス (株) (名古屋市中区)

### ●ステップ2

- KES2-0251 中島設備工業 (株) (京都市山科区)
- KES2-0252 帝国電器 (株) 田川工場 (大阪市淀川区)
- KES2-0253 白川商店 (株) (京都市伏見区)
- KES2-0254 公栄運輸 (株) (京都市伏見区)
- KES2-0255 桃山ポリ (株) (京都市伏見区)
- KES2-0256 (株)松永文商店 (京都市東山区)
- KES2-0257 岡本製作所 (滋賀県守山市)
- KES2-0258 (株)開成 (京都市伏見区)

### 事務局短信

9月16日から18日まで、三条通で開催された「三条あかり景色」(楽洛まちぶら会主催)にスタッフとして関わっていました。町家も明治・大正期の近代建築も、新しい建物も、その壁面がスクリーンとなって様々な映像作品が映し出され、歩く人の目を楽しませていました。まちを歩く人が増えれば、通過交通は自ずと減ることを実感!(滋野浩毅) / 最近各地でクマが里に降りて来ており、2004年秋のようにたくさん殺されることにならないか心配です。昔の人はクマ止め林と言って、クマが民家の柿の木に来ないように、山すそに柿の木を植えました。そのために凶作年でも、クマは民家まで降りて来なくてすみました。最近集落でクマの被害対策のためにカキをもぐことが奨励されていますが、これではクマは食べものを求めて更に街中に入って来て、騒ぎが大きくなります。山すそにあったクマ止め林を復元するなどして、クマは、山すそで止めましょう。(小山直美) / 残暑も過ぎて周囲はすっかり秋です。秋の行楽シーズンには、京都市ではマイカー観光から公共交通機関への転換を促す施策が実施されます。ウェブサイト「京の交通交流ひろば」の取材報告にご注目ください。(長谷川吉典) / 先日、「京のアジェンダ21」をテーマに内藤先生がお話された京エコロジーセンター職員研修に同席させていただきました。私は途中参加だったため質疑応答の時間に入って、滋賀で考えられている計画の情報提供等が話の中心でしたが、今後の活動の参考になりました。都市ではインフラが整いすぎており先生の考える「持続可能な社会」は難しいとお言葉にはショックを受けましたが、これからフォーラムでできることを考えていきましょうと約束いただき嬉しかったです。フォーラムで「内藤先生を囲む会」をやってもよさそうですね。(竹村光世)